

九州初！くさらない木で建てた家が新登場。 ハウスガードシステムのコンセプト住宅。

ハウスガードシステム大分モデルハウス

Kihaco



梁や柱には、くさらない木「緑の柱」を使用。その実際を見ることができる。



最新の薪ストーブも見て、体感できる。

HOUSE
GUARD
SYSTEM



大分市中戸次にオープンしたハウスガードシステム大分モデルハウス「Kihaco」。

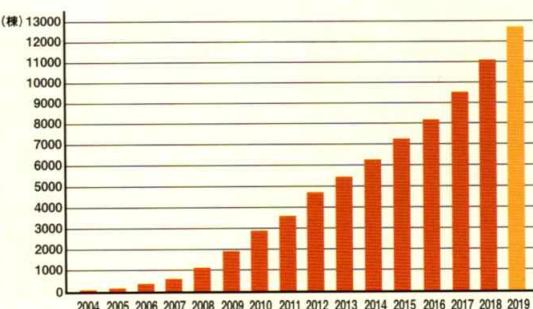
ハウスガードシステム 物件の施工実績

過去に建てた**12,637**棟のうち
ハウスガードシステム部材(緑の柱)への
シロアリ被害・腐れ被害は**0**です。

現在、年間**1,400**棟以上
施工されています。

※2020年2月時点

累計 12,637 棟



そこに、明治19年（1886年）に創業した玉井木材センターのくさらない木で建てた家が登場したわけです。木材業界で130年超にわたり信頼と実績は、どんなイメージ広告に勝るとも劣らないパワーを地元工務店に与えてくれるでしょう。

国産無垢材にマイトレックACQを加圧注入処理した家は、まだなじみが薄いと思うかもしれません。しかし、城島高原パークの木製ジェットコースター「ジュピター」をご存じの人は多いでしょう。「ジュピター」は30年近くにわたって、私たちの暮らしの中に息づいているのです。

木製ジェットコースター ジュピターとの意外な共通点

昨年のワイヤーズでもお知らせしたように、くさらない木で建てたモデルハウスが、大分市中戸次の「玉井木材センター」の近くにオープンしました。近くでよく見てみると、木材を使った家ではありえないことが実現しています。なんと木製ルーバーが露出しているのです。これは国産無垢材にマイトレックACQを加圧注入処理しているから。これだけの処理で人体には無害で、木材をくさらないようにできるのです。

現在、住宅市場にはさまざまな魅力を持つ家が登場しています。その一方で、地元工務店は進化を続ける住まいと戦つて行かなくてはなりません。